

学校だより ジャンボ、八幡っ子!

令和2年7月1日
市川市立八幡小学校
第4号 校長 吉野和雅

6月1日(月)より、学校が再開され、早くも1か月が過ぎました。この6月は、1/3、1/2の分散登校を経て、6月22日(月)からは、給食開始による通常授業となりました。やっと学校全体に子どもたちの活気が戻ってきました。

6月23日、市川市内に激震が走りました。市内の小中学校(国分小、第三中学校)で新型コロナ陽性が確認されたとの報道があったからです。覚悟はしていましたが、まさかこれ程身近な場所での発生に啞然とするばかりでした。

その後、当該校は、3日間の休校となり、校内の消毒と関係者のPCR検査が行われました。この3日間は、あくまでも状況把握のための休校です。PCR検査の結果、問題なければ通常の体制に戻し、万が一、複数名の陽性者が確認された場合は、感染拡大防止に向けた学年閉鎖や臨時休校を実施するものでした。いわゆる2段階への対応となっているとご理解ください。

6月26日の夜、幸いなことにPCR検査の結果、全員陰性との連絡があり、6月29日(月)からは通常授業となっています。ただし、近隣の菅野小学校にて陽性が確認されるなど、予断を許さない状況となっています。

その中で、決して忘れてはならないことは、感染者となった子どもは勿論、学校も学級も担任も被害者なのだという事です。校内から感染者が出て何ら責められるようなことはありません。間違っても、感染者の子どもや家族に対する誹謗中傷を行うような加害者を生んではいけないのです。当該の子どもたちが退院し、教室に帰って来た時には、是非とも「よくがんばったね」と笑顔で迎えたいものです。

また、最近、「新しい生活様式」との言葉を多く耳にします。この「新しい生活様式」では、感染症対策として「集わないこと」、「直接的なつながりを避けること」を基本としています。学校は、これまで集団生活の中で学びながら社会の一員としての基礎を培ってきました。この「学校常識」を変え、新たな「あたりまえ」をつくることが求められています。ある意味、「新しい生活様式」は「新しい学校生活」の始まりであるといえます。「今まで通り」を願い、夢見ても仕方ありません。できないことを嘆くより、できることを「考え、作り上げていく」ことが何よりも大切であると思います。

みんなで元気を出して、力を合わせ、知恵を出し合い、これからの学校生活を「考え、作り上げていきたい」と思います。

夏季休業が短縮されたため、今月末までの登校となります。暑くて、長い長い夏になると思います。熱中症対策を含めて、健康管理には、十分留意いただきますようお願いいたします。



▲仮面ライダーどら



■ 入学式を挙行了しました。

6月5日(金)、4月から延期されていましたが入学式を本校体育館で挙行了しました。規模を縮小しての入学式ではありましたが、102名の新入生が元気に出席することができました。特に新入生の態度がとても立派で、感心しました。これからの学校生活が今から楽しみです。



■ アクアを整備しました。

(1) 職員玄関の水槽を整備しました。

職員玄関前の120センチ水槽がいつも緑に濁っているのが気になっていました。そこで、外付けの大型濾過器を取り付けるなど水槽の改造を行いました。お陰で、水槽のオランダシシガシラは幸せいっぱいです。



(2) 120センチ水槽がやってきました。

市川市内すべての小中学校等の校長先生に校長室の熱帯魚・オスカー君のために「使用していない90センチ水槽がありましたら、お譲りください」とお願いをしたところ、翌日、幸小学校より何と120センチ水槽が届きました。(幅120×奥行45×高さ65)想像していた水槽よりも桁外れの巨大さにビックリしました。これ程の水槽の水温(25度)を維持するのは厳しいので、校長室にて飼育していた鯉(2匹)を移しました。水槽が大きすぎて、折角の鯉がメダカにしか見えません。

(3) アカミミガメが産卵をしました

6月12日(金)の昼休み、校長室のミシシッピーアカミミガメ(母カメ)が歩きたがるので、学校の砂場で散歩をしていました。すると…、突然、母カメが、砂場の砂を後ろ足で掘り返し始めているではありませんか。ビックリです。観察をしていると、前を向いたまま、後ろ足だけで、まさにパワーショベルのように器用に左右に掘り返し、何と2個の卵を産み落としました。生命の神秘を目の当たりにした思いです。また、16日(火)には、校長室のコオロギの卵が孵化しました。校長室は、まさにベビーラッシュです。



■ ほっと給食(新型コロナ感染防止対応給食)が始まりました!

6月22日(月)より約4か月ぶりに給食が始まりました。どれほど、この日を待ち焦がれたことか、子どもたちは久しぶりの給食に狂喜していました。特に新型コロナ感染症防止のため、献立の縮小こそありましたが、初日はハンバーガーにABCスープ、ゼリー、牛乳でした。子どもたちは一一口味おいながら、美味しくいただきました。やっぱり、給食が一番です。改めて給食の偉大さを痛感しています。



■ 泊を伴う行事について

- ・4年生のグリーンスクールは、大町少年自然の家が12月まで閉所となるため、本年度は中止といたします。
- ・6年生の修学旅行(10月予定)、5年生のホワイトスクール(2月予定)については、7月末の時点で実施および中止を判断いたします。但し、7月末の状況により、1月以降の行事を11月末に判断する場合があります。
- ・中止の場合は、キャンセル料(企画料)が発生する可能性があります。

